

2023年8月18日

## 輸送動向について（2023年7月分）

### 1. 輸送概況

日常生活がコロナ禍前に戻りつつありインバウンドやレジャー需要が活発化する一方、商品値上げ等により生活物資を中心に個人消費は低迷するなど国内貨物の総物流量は低調に推移しており、大雨に伴う山陽線不通の影響も受け、輸送実績合計は前年を下回った。

コンテナは、食料工業品が、山陽線不通及び現地生産化等により清涼飲料水を中心に伸び悩んだ。積合せ貨物は、山陽線不通に伴う列車運休により減送したほか、化学薬品及び化学工業品は、需要低迷に伴う生産減が続き低調に推移したことにより、コンテナ全体では前年比 86.7%となった。

車扱は、セメント・石灰石が前年の出荷調整等の反動増により前年を上回ったほか、石油が外出機会の増加によりガソリン及び軽油等を中心に需要が増加し、増送となった。車扱全体では前年比 109.0%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比 93.1%となった。

### 2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,345	1,551	86.7%	5,761	6,048	95.3%
車 扱	674	618	109.0%	2,517	2,285	110.1%
合 計	2,020	2,170	93.1%	8,278	8,334	99.3%

### 3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	77	87	-10	88.0%
	化学工業品	118	142	-23	83.7%
	化学薬品	84	107	-23	77.9%
	食料工業品	244	281	-37	86.7%
	紙・パルプ	154	165	-11	93.2%
	他工業品	97	116	-19	83.4%
	積合せ貨物	228	256	-27	89.2%
	自動車部品	47	58	-11	80.5%
	家電・情報機器	25	30	-4	86.0%
	エコ関連物資	32	37	-4	88.8%
	その他	234	268	-33	87.6%
	コンテナ計	1,345	1,551	-206	86.7%
車 扱	石油	432	422	10	102.4%
	セメント・石灰石	145	99	45	146.3%
	車 両	64	61	3	105.0%
	その他	32	35	-3	90.2%
	車 扱 計	674	618	55	109.0%
合 計		2,020	2,170	-150	93.1%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)